

「1980年代日本映画——試行と新生」

『ファンシイダンス』 バリアフリー上映のお知らせ

平素よりお世話になっております。国立映画アーカイブでの企画上映「1980年代日本映画——試行と新生」(2/16～5/5)におきまして、『ファンシイダンス』(1989年、周防正行監督)のバリアフリー上映を行います。聴覚障害の方向けの**日本語字幕**と、映画の音声を増幅する**ヒアリンググループシステム座席**をご用意しています。また、視覚障害の方向けの**音声ガイド**をFM配信し、ラジオ貸出もいたします。目や耳の不自由な方も、日本映画の名作を一緒にお楽しみいただける機会となります。多くの方にお知らせたく存じますので、ぜひとも周知にご協力賜りますようお願いいたします。

<音声ガイド監修をいただいた周防正行監督よりのコメント>

「映画館で映画を見たい」と仰った視覚障害をお持ちの方の願いに胸をつかれました。「観客を選ばない映画作り」を目指していたのに、思いもかけないところに「見たい人」がいたのです。それ以来、音声ガイドの制作に参加するようになりました。今では、音と映像の関係性について深く考える、とても貴重な場になっています。

企画概要

『ファンシイダンス』バリアフリー上映

聴覚障害の方向けの字幕投影、ヒアリンググループシステム、視覚障害の方向けの音声ガイド

日時：2021年3月27日(土) 1:00pmの回 (12:20 pm 開場)

会場：国立映画アーカイブ 長瀬記念ホール OZU (2階) (東京都中央区京橋 3-7-6)

料金：障害者(付添者は原則1名まで)は無料 (障害者以外の方の料金については当館HPをご覧ください。)

HP：www.nfaj.go.jp/exhibition/japanese1980s202101/#section1-5

バリアフリー協力：株式会社KADOKAWA、Palabra株式会社、株式会社アルタミラピクチャーズ



『ファンシイダンス』(1989年/101分/監督：周防正行/主演：本木雅弘)

自由な学生時代を終えた陽平(本木)は、実家の寺を継ぐため禅寺で修行する。恋にオシャレに煩惱もありつつ修行僧の日常を飄々とこなす現代の若者を描いたコメディ。周防正行の一般映画第1作で、未知の世界に飛び込んだ主人公の青春ドラマを軽妙なタッチで綴る作風の原点ともいえる。本作で映画初主演した本木雅弘は、アイドルを脱して本格的に俳優の道を歩む転換点となった。

メールおよびFAX予約方法

件名：字幕/ヒアリンググループ/音声ガイド(いずれかをご記入ください)

記入事項：①来場者全員のお名前(付添者は人数だけでも可)

②希望席数/ラジオ希望台数

③返信用連絡先(当日も連絡がとれる電話またはメールアドレス)

※個人情報上記の目的にのみ使用し、使用後は適切に破棄します。

◎ヒアリンググループ座席をご希望の方は、磁気コイル付補聴器(“T”マーク付補聴器)をご持参下さい。

申込先：【メール】assist@nfaj.go.jp 【Fax】03-3561-0830 国立映画アーカイブ上映室 宛

申込期間：2021年2月26日(金)～3月23日(火)(*定員に達し次第、締め切ります。)

※予約について※

ヒアリンググループ座席と音声ガイドラジオ貸出は、メールまたはFAXによる【事前予約制】です。

また、聴覚・視覚障害の方で、字幕でご覧になる方やラジオとイヤホンを持参される方も、

お席の予約をお勧めしますので、3月23日(火)までにご連絡ください。

(席数や貸出ラジオ台数には限りがございます。お早めにお申し込みください)

※「当館の新型コロナウイルス感染症拡大防止策」および「ご来館にあたってのお願い」については、次頁をご覧ください。

〔本特集に関するお問い合わせ〕 国立映画アーカイブ(上映室：横田・玉田・森宗)

〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-6 MAIL:pr@nfaj.go.jp TEL:03-3561-0823 FAX:03-3561-0830

「当館の新型コロナウイルス感染症拡大防止策」および「ご来館にあたってのお願い」について

※上映に関する当館の対策およびお願いにつきましては、こちらをご覧ください。

当館の新型コロナウイルス感染症拡大防止策

- 来館者全員への検温を実施（37.5℃以上の方は入館をお断りし、会期終了後に前売指定席券の払い戻しを行います）。
- 館内各所に手指用消毒液を設置。 ●上映のインターバルを長くとり、清掃・消毒を強化。 ●ホール内の換気を強化。
- スタッフはマスク・手袋等を着用して対応。 ●受付などの対面場所に飛沫ガードを設置。

ご来館の皆様へのお願い

- 発熱や風邪などの症状がある方は、来館をお控えください。
- マスクの着用と咳エチケットにご協力ください。
- 館内で体調を崩された場合は、スタッフにお知らせください。 ●こまめな手洗いや手指の消毒にご協力ください。
- 入退場やご観覧の際は、互いに適切な距離を保つようお願いいたします。
- ロビー等での飲食は、蓋の開まる飲み物以外は禁止にさせていただきます。 ●感染発生時の入館者追跡のため、ご自身で入館日時の記録をお願いいたします。

※上映以外に関する当館の対策およびお願いにつきましては、こちらをご覧ください。

ご来館にあたってのお願い

ご来館される皆さまへ

- ★ 入館時に、非接触型体温計による検温を実施します。37.5℃以上の方は入館をお断りしますのでご了承ください。
- ★ 以下に該当する方はご来館をお控えください。
 - ・ 37.5度以上の発熱のある方。
 - ・ 咳、のどの痛み、くしゃみ、鼻水などの風邪の症状がある方。
 - ・ 過去14日以内に発熱や風邪の症状等で受診や服薬等をした方。
 - ・ 過去14日以内に感染拡大している地域や国への渡航歴がある方。
- ★ 混雑時には、入場制限を行いますのでご協力ください。
- ★ こまめな手洗い、館内に設置した消毒液での手指消毒にご協力ください。
- ★ 館内ではマスク着用と咳エチケットにご協力ください。
- ★ 大声での会話はできる限りお控えください。
- ★ 他の方と1メートル以上を目安に十分な距離を保ってください。
- ★ 館内での飲食はご遠慮ください。（キャップ付きの飲み物は除く）
- ★ 感染発生時の入館者追跡のため、ご自身で入館日時の記録をお願いします。
- ★ 館内で体調が悪くなられた場合は、お近くのスタッフまでお申し出ください。

当館における取り組み

- ★ ロビー等にある椅子の一部撤去やフロアマーカの設置など、ソーシャルディスタンスの確保に努めています。
- ★ 受付にはアクリル板を設置しています。
- ★ スタッフは出勤時に検温を行い、手袋・マスク・フェイスシールドの着用、手指の消毒を徹底しています。
- ★ ドアノブなど多くの人が手で触れる場所、展示室のケース、貸出用の車いすやベビーカーは十分に消毒しております。
- ★ 館内は定期的に換気を行っています。
- ★ 館内で感染者が発生した場合には、HPで周知いたします。